

【協働の評価】

| | |
|---|---|
| <p>協働で進めて いきたい理由</p> | <p>子育てや介護等により退職した女性が再び働くにあたっての支援を目的としており、地域の女性の働く環境を良くしたいという目的で活動をしている団体と協働で実施することにより、当事者目線で企画運営ができるため。</p> |
| <p>協働の 成果・効果</p> | <p>【協働の成果目標】 セミナー参加者の満足度 参加者の80%が満足(よかった、まあよかった)</p> <p>【達成できた点】 事業実施後のアンケートに回答した参加者のうち、満足・やや満足は91.1%となり、満足度は達成できた。</p> <p>【達成できなかった点】 事業成果の目標として掲げていた目標参加者数が未達成となった。 ・セミナーの参加者 60人(15人×4回)⇒33人 ・再就職を意識して活動を始めた人もしくは就職した人が5人⇒3人 (セミナーの実施期間が長く、間延びしてしまったため、途中で辞められる方や欠席する方が多く、すぐに働きたい人やモチベーションの維持に課題があると考え。一方で、実際に企業担当者との対話や職業体験を通じ、自身の就業イメージやギャップを意識することができた点は、実際に働きだすきっかけとしては有効であった。今後、セミナーで培った職業観や就職意欲を、実際に就業までつなげていくかは検討が必要。)</p> |
| <p>相互評価</p> <p>※上手くいったこと 問題点・課題など</p> | <p>【事業実施前】 ★3 ○市 第1回が6月の実施であったが、広報周知の準備に十分な余裕がなかったため、事業周知から募集時期に余裕を持たせることで、事業内容をターゲット層に確実に届けられるよう改善の余地がある。</p> <p>○団体 インターンシップは一般的に新卒向けに実施されることが多く、社会人経験者がインターンシップに参加できる機会は限定されているが、今回は参加者が実際に業務を体験することで、より仕事内容を理解し、企業へ応募することへのハードルを下げるために、企業と調整を行い、実施を実現させた。依頼企業については、市就労アドバイザーからの情報提供や市役所のサイト(worker's station)に掲載している企業から選出した。</p> <p>【事業実施中】 ★4 ○市 受付、参加者への事前案内などは、団体の協力により、事務担当者と連携を取り処理することができた。 また、市のキャリアアドバイザーが職業体験やフォローアップにも携わることで協力して事業を進めることができた。 しかしながら、回数を重ねる毎に参加者が減っていった点については、実施期間が長期化してしまったことが影響していると考え。</p> <p>○団体 参加者が就業する際のイメージを掴みやすくするため、インターンシップでは補助的な業務ではなく、仕事への理解を深められる実践的な業務が体験ができるよう、参加企業と詳細な打合せを行った。また、当日も団体と市の就労アドバイザーが同行し、状況確認を行い、フォロー体制を充実させた。 セミナー参加者の中には、期間中に就業が決まった方が出るなど、就業への意欲は高まっていった。</p> <p>【事業終了時】 ★5 ○市 参加者が実際に職業体験を通して、自身の職業観を見直し、就業のイメージをもつこと</p> |

| | |
|--------------|--|
| | <p>ができたことは成果であるが、セミナー終了後にほとんど市の就労支援や合同就職面接会に繋がれておらず、フォローアップ体制をどう構築していくか、また、就労にどうつなげていくか検討していかなければならない。</p> <p>○団体 2025年度は2024年度の反省を踏まえ、セミナー期間を短期間で実施するよう、9月～10月の短期間で全4回を実施とする。また、参加企業からは、説明会・インターンシップは継続的に行いたいとの希望があり、引き続き参加者と企業を繋ぐプログラムを実施予定。</p> |
| 今後の展望 | <p>セミナーに参加して終わりではなく、参加者同士の継続した交流や市のフォローアップ体制などを構築し、1人でも多くの就労実績につなげるようにしたい。</p> |